

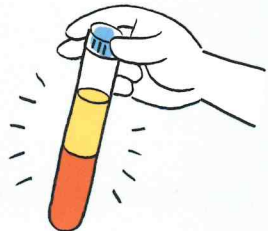
手術以外の選択肢の一つ

## PRP療法

変形性膝関節症の治療には、さまざまなオプションがありますが、再生医療は最近注目を集めています。再生医療には、PRP療法（多血小板血漿療法）、脂肪由来幹細胞療法、骨髄由来幹細胞療法などが含まれます。

PRP療法は、自身の血液から採取した血小板を関節に注入することで、炎症を抑え、組織修復を促進することを目的とした治療です。

PRP療法を始めとする再生医療は手術を選択する前段階の治療です。人工関節置換術や関節鏡手術といった従来の治療法と比べて、副作用が少なく、短期間で回復することが期待できます。ただし、効果には個人差があり、適切な治療法を選択することが求められます。「手術を受けることを迷っている」、「手術以外の選択肢を探している」という方は、かかりつけの専門医にご相談ください。



詳しくは専門医にご相談ください



変形性膝関節症の

## PRP (多血小板血漿) 療法とは?



関節が痛い.com

検索

「関節が痛い.com」は、京セラ株式会社 が運営しています。

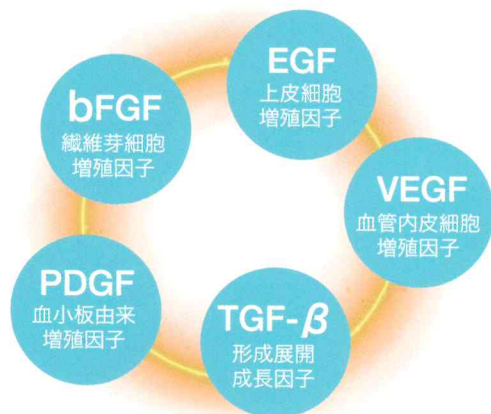
# PRP(多血小板血漿)療法とは?

## PRP療法とは

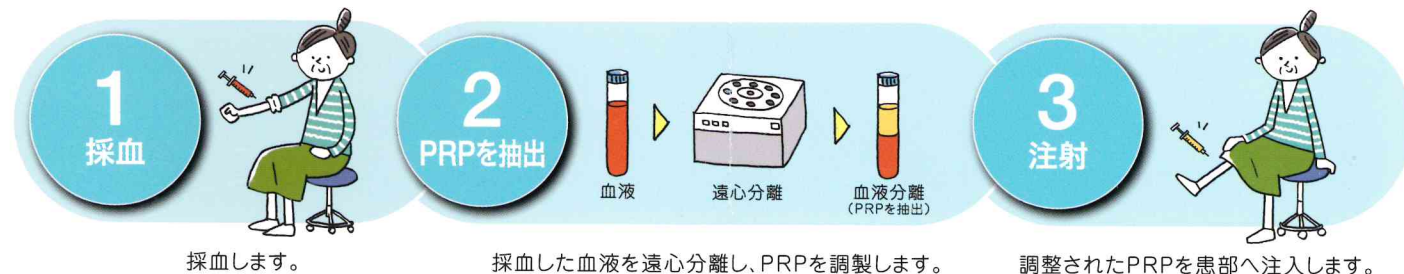
PRP療法は、多血小板血漿療法(たけっしょうばんけっしょうりょうほう)の略称で、自分自身の血液から取り出した成分を用いて、患部の治療や再生を促す治療法です。具体的には、患者から採取した少量の血液を専用の装置で遠心分離し、その中から血小板を多く含む血漿層の「PRP」と呼ばれる部分を取り出します。PRPには成長因子が含まれており、これらが患部に注入されることで、組織の修復や再生を促進する効果が期待されます。PRP療法は、スポーツ障害や慢性的な腰痛、肩こりなどの筋肉や関節の痛みにも効果があるとされています。また、美容治療や創傷治療など多くの分野で使用されています。

## PRPから放出される成長因子

- 成長因子の主な働き
- 組織の修復を助ける
  - 炎症を抑えて、痛みを軽減する



## PRP療法の流れ 約30分



## PRP療法の長所 短所

### 長所

#### 安全性:

PRP療法は、患者様ご自身の血液から作られた血漿成分を使用するため、副作用のリスクが低く、安全であるといわれています。

#### 手術の代替手段:

PRP療法は変形性膝関節症の治療において、基本的には手術を選択する前段階の治療ですが、手術の代替手段として使用されることがあります。手術のリスクや回復期間を避けることができ、治療期間が短くて済む(日帰り治療)ことがあります。

#### 症状の緩和:

PRP療法は、痛みや腫れなどの症状を軽減することができるかとされています。また、膝関節の損傷を修復することや、関節の機能を改善することが期待されています。

### 短所

#### 効果にばらつきがある:

PRP療法の効果には、患者によってばらつきがあるとされています。一部の患者では劇的な改善が見られる一方で、他の患者では効果が見られない場合もあります。

#### 長期的な効果が不明瞭:

PRP療法の長期的な効果については、まだ十分に明らかにされていない部分があります。治療後の再発や治療期間中の悪化についても、まだ解明されていないことがあります。

## 治療の費用

自由診療：PRP療法は、保険が適用されません。自己負担費用については医療機関にお問合せください。